

三菱自動車、欧州市場向けの新型電気自動車『エクリプス クロス』を年内より順次発売

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）の欧州事業統括会社であるミツビシ・モーターズ・ヨーロッパ・ビー・ブイは、欧州市場向けの新型電気自動車『エクリプス クロス』を 2025 年内より欧州で順次販売を開始します。なお、同車はルノーグループの EV 生産拠点であるルノーエレクトリシティ、ドゥエー工場で生産されます。

新型『エクリプス クロス』ワールドプレミア（英語のみ）

<https://www.youtube.com/watch?v=qJYG2mV3hsk>



新型『エクリプス クロス』

新型『エクリプス クロス』は、コンパクト SUV『ASX』、コンパクトハッチバック『コルト』、コンパクト SUV『グランディス』に続いて、アライアンスパートナーであるルノーグループより OEM 供給を受けるコンパクト SUV です。CMF-EV プラットフォームを採用し、電気自動車（以下、BEV）専用モデルとして欧州における電動化を推進します。新型『エクリプス クロス』は、三菱自動車独自のデザインコンセプト「ダイナミックシールド」をフロントフェイスに採用し、力強く洗練されたスタイルを実現。約 600km の航続距離を実現する電動パワートレインや Google 搭載^{*1}の最新のコネクティッド機能、先進の安全技術を備え、日常から週末のロングドライブまで、安心かつ快適な移動をサポートします。

当社社長 加藤隆雄のコメント

「世界初の量産型電気自動車『アイ・ミーブ』を開発した当社は、環境にやさしい車両の提供を使命とし、カーボンニュートラルの実現に取り組んできました。今回の『エクリプス クロス』の投入は、プラグインハイブリッド EV『アウトランダーPHEV』やハイブリッド EV『グランディス』に続く、欧州における電動化戦略の重要なステップであり、より幅広い電動車ラインアップを揃えて脱炭素社会の実現に貢献するとともに、欧州のお客様の多様なニーズにお応えしてまいります。」

新型『エクリプス クロス』の主な商品特長は以下の通りです。

■エクステリア

デザインコンセプトは「スマート アーマー」とし、先進的で洗練されたスマートなEVデザインに、鎧のような力強いデザイン要素を用いることで、堅牢性や安全性を表現しています。フロントフェイスには、三菱自動車のデザインアイデンティティ、「ダイナミックシールド」を進化させたデザインを採用。フロントグリルの立体的なハニカムパターンが力強さと上質さを演出し、特徴的なLED フロントライトが堅牢性とモダンな印象を表現しています。ボディサイドは、デイトタイムランニングランプ周囲に描かれたダイナミックなJ字型のラインが、引き締まった俊敏なプロポーションを演出し、特徴的な三角形デザインの20インチアルミホイール^{*2}が、洗練された印象を与えます。リヤにおいては「ヘキサゴナル スタビリティ」というデザインアイデンティティを採用しました。彫り込まれたような六角形のモチーフが、力強さと三菱自動車のDNAを表現するとともに、水平に配したリヤコンビランプが、安定感と力強いスタンスを表現しています。



■インテリア

インテリアは、「スポーティ&モダン」のテーマのもと、車内を囲むように配されたサテンシルバーの水平基調のアクセントが、空間の広がりとし先進性を演出します。シートレイアウトは、広さと使い勝手にこだわった2列5名乗車で、ホールド性を高めたシートにはダイヤモンドパターンのステッチを採用し、上質感と快適性を提供します。また、ドアパネルとダッシュボードに配したアンビエントライト^{*2}がモダンで先進的な雰囲気を演出。48色のカラーバリエーションから好みや気分に合わせて選択が可能で、さらにドライブモードに応じて色が自動で変化します。スイッチ操作でガラスの透過と調光の切り替えが可能なパノラマガラスルーフ（調光機能付）^{*2}は、日差しの眩しさや熱を抑え、開放的かつ快適な室内空間を実現します。あらかじめ設定されたパターンに基づき、全面透過や全面調光に加え、フロント透過・リヤ調光、フロント調光・リヤ透過の調整をすることが可能です。



■パワートレイン

新型『エクリプス クロス』は、総電力量 87kWh の駆動用バッテリーを搭載し、一充電あたり約 600km (WLTP モード) の航続距離を実現しました。最高出力 160kW、最大トルク 300N・m を発揮し、アクセルを踏み込んだ瞬間から力強いトルクが立ち上がります。都市部からアウトドアまで、あらゆる道で爽快なドライブフィールを実現し、また電動車ならではの静かでスムーズな走りが快適性を一段と高めます。回生ブレーキは、ステアリングホイールに配したパドルシフトの操作により、4 段階から選択が可能。交通状況や走行環境に応じて最適なレベルを任意で選ぶことができ、航続距離のさらなる伸長にも寄与します。ワンペダル機能も搭載しており、アクセルペダル操作のみで加減速や停止の操作が可能。加減速の多い都市部でもスムーズな運転を実現し、効率的なエネルギー回生にも役立ちます。充電は、最大 22kW^{*3} の普通充電に加え、最大 150kW の急速充電の利用も可能です。なお、2026 年には日常使いに最適な中距離モデルの販売も予定しています。



■デジタル化・コネクティッド機能

新型『エクリプス クロス』は、縦型の12.3インチスマートフォン連携ディスプレイオーディオ（以下、SDA）を採用し、最新のインフォテインメント体験を提供します。Google 搭載^{*1}の車では、車に乗った瞬間から Google アシスタントや、Google マップといったアプリの利用や、Google Play からさらに多くのアプリのダウンロードも可能。「OK Google」と話しかけるだけで、エアコンの操作、目的地検索、通話、音楽再生などを、すべてハンズフリーで実行できます。Apple CarPlay^{**4}および Android AutoTMにはワイヤレスでも接続し、シームレスなスマートフォン連携を実現します。車載オーディオにはハーマンカードン製プレミアムサウンドシステムを採用。5つのリスニングモードから気分や好みに応じて音質を調整でき、臨場感あふれる高品位なサウンド体験をお届けします。SDAからは、「パーソナル」「エコ」「コンフォート」「スポーツ」の4つのドライブモードを選択可能で、ドライバーの好みや走行状況に合わせたドライブが可能となります。さらに、モバイルアプリ「Mitsubishi Motors」は、車両のロックやアンロック、車両の充電、駐車位置などをスマートフォン上から遠隔で操作、確認でき、日常の利便性を向上します。また、ソフトウェアの無線通信技術「FOTA（Firmware-Over-The-Air）」に対応しており、SDA画面上の案内に沿うだけで、常に最新のソフトウェア環境にアップデートが可能です。

■安全機能

新型『エクリプス クロス』は最大20に上る先進運転支援システム^{*5}（ADAS）を搭載。超音波センサーやカメラ、前方レーダーにより車両周辺を常時モニタリングし、安全運転を支援します。高速道路同一車線運転支援機能「MI-PILOT」^{*2}や後退時交差車両検知警報システム[RCTA]^{*2}などの多彩な先進安全装備で、安全・安心なドライブ体験を提供します。

*1：Google、Android、Google Play、Google マップおよびその他のマークは Google LLC の商標です。互換性のある Android スマートフォンと、対応する有効なデータプランが必要です。

*2：グレード別装備

*3：オプション装備

*4：Apple CarPlay は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

*5：新型『エクリプス クロス』に含まれる主な先進安全装備は下記の通りです。

- ・レーダークルーズコントロールシステム（全車速追従機能付）
- ・マルチアラウンドモニター
- ・オートマチックハイビーム
- ・後側方車両検知警報システム
- ・クルーズコントロール（スピードリミッター付）
- ・ディスタンスウォーニング
- ・ふらつき警報
- ・緊急時車線維持支援機能
- ・衝突被害軽減ブレーキシステム
- ・インテリジェントスピードアシスタンス
- ・車線維持支援機能
- ・車線逸脱警報システム
- ・車線維持支援機能
- ・高速道路同一車線運転支援機能「MI-PILOT」
- ・オキュパントセーフイグジットアシスト

- ・ 駐車支援システム
- ・ パーキングセンサー
- ・ 後退時ブレーキアシストシステム
- ・ 後退時交差車両検知警報システム
- ・ リヤビューモニター

以上